

街あるっく田原

歩

街

田原

街あるっく田原

第31号

- 城下町の歴史・文化を学ぼう
- 城下町の歴史と文化をめぐる
- かねき米の郷

平成27年9月15日(火)

発行元 / 株式会社あつまるタウン田原

所在地 / 愛知県田原市田原町萱町1

TEL / 0531-24-2345 URL / <http://www.tahara-tmo.com/>



街めぐり

城下町の歴史・文化を学ぼう

田原城・二ノ丸跡に建設された「田原市博物館」。渡辺華山、田原藩をはじめとする市の歴史資料が多数展示され、田原市の歴史を紹介するシンボルとなっています。

渡辺華山は、寛政5年(1793年)9月16日、江戸麹町の田原藩上屋敷に生まれ、8歳から藩に仕え、朱子学や陽明学をきわめました。幼少の頃から画にも親しみ、南画に独特の描線と洋画の立体感をとり入れ、花鳥・山水・人物・俳画・素描など多彩な名品を残しました。

40歳で藩の家老職に就いてからは、田原藩の政務に貢献し、義倉「報民倉」を設け、天保の飢饉のときに1人も餓死者をださなかつたことは有名です。しかし47歳のとき、西洋事情を研究し、鎖国の非を「慎機論」で記したことが、幕政批判とされ、田原で蟄居(ちつきよ) (刑罰のひとつで、閉門の上、自宅の一室に謹慎させること) を命じられます。そして、藩に災いが及ぶのを恐れ、49歳で自刃しました。

田原市博物館では、10月18日(日)まで、特別展示室にて、渡辺華山筆 竹溪六逸之図や、重要文化財 椿椿山筆 渡辺華山像などを展示していますので、ぜひ足をお運び

ください。

※田原市で所蔵する関係資料の一部が、国の重要文化財に指定されています。

▼利用案内

◎開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

◎休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)・展示替日

◎観覧料 / 一般210円(160円)
小・中学生100円(80円)

◆秋の企画展(12月6日まで)
／一般500円(400円)

()内は20人以上の団体割引料金です。

◎問い合わせ先
田原市田原町巴江11-1
☎22局1720

●田原市博物館のホームページにて、詳細をご覧ください。
<http://www.taharamuseum.gr.jp/>



⑥ 民俗資料館

学ぶ

田原市博物館に隣接し、田原城桜門の正面にあります。江戸時代以降の庶民の暮らしを中心に歴史・民俗・生活工芸資料が展示されています。資料の展示・解説にとどまらず、身近で、楽しく学ぶことのできる場として、間近にその時代を感じることができます。

住 田原町殿町 33 (田原城桜門正面)

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休 毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日)

観覧料 無料 **☎** 0531-23-0914 **駐** 有



⑤ 田原市報民倉

報民倉は、天保6年(1835年)に渡辺華山の発案により田原藩によって建設されました。飢饉に備えた穀物などを蓄える倉庫で、天保の大飢饉の際には一人の餓死者も出さなかったといわれています。「民に報いる穀物を貯える倉」という意味から『報民倉』とつけられました。市では、防災資材を備蓄する倉庫に、その名前を復活させました。



④ 田原城惣門跡

惣門は武家屋敷を含む田原城の城域を囲う惣構の門です。絵図及び発掘調査の結果から、17世紀中頃にこの石垣が組まれたことがわかっています。絵図には二層の門が描かれ、田原城の入口として機能していました。現在は、東側の惣門に関わる石垣が残るのみで、近世城郭の威容を伝える貴重な遺構です。



田原城跡の二ノ丸櫓



民俗資料館付近



城宝寺 華山霊牌堂 天井画「花の絵」

城下町の歴史と文化をめぐる

街めぐりの第3回目となる今回は、田原の歴史と文化を学ぶ街めぐりです。小腹がすいたら立ち寄りた「昔ながらのお団子屋さん」や、歩き疲れた身体をリフレッシュできる、田原の街なかではここでしか体験できない穴場スポット「足湯」をご紹介します。

【次号の特集記事のお知らせ】

蔵王山特集。車で登っても楽しめるスポットや、昨年10月にリニューアルオープンした展望台の楽しみ方をご紹介します。

⑨ たはら・いいじゃん市場

⑧ 華山神社

⑦ 田原城跡 桜門

⑥ 民俗資料館

⑤ 田原市報民倉

④ 田原城惣門跡

③ 日米堂商店

② 田原まつり会館

① 城宝寺

歴史街めぐり順路



⑨ たはら・いいじゃん市場

体験

蔵王山伏流水と石灰石・石英はく岩の石板を敷き詰めた「足湯」が設置されています。足湯に浸かりながら蔵王山を眺望でき、四季折々の彩りを楽しむことができます。

住 田原町巴江3番地1 **駐** 有

営 午前9時～午後5時

休 毎週火曜日 **足湯利用料** 無料

☎ 0531-36-5188



⑧ 華山神社

華山神社は田原城出丸(新倉)跡に建てられました。田原藩の家老として、また文人・画家・蘭学者として活躍した渡辺華山の遺徳をしのび、毎年命日の10月11日に大祭が開催されます。現在の姿は、伊勢湾台風による崩壊のあと、再建されたものです。境内には、田原市の巨木・名木100選に選ばれたソテツの巨木があります。

駐 有



⑦ 田原城跡 桜門

田原城は文明12年(1480年)ごろ、戸田宗光によって築城されました。当時は、城域が海に囲まれ、その湾の形から「巴江城」とも呼ばれていました。現在は、石垣・堀・土塁などが残っていて、桜門と二ノ丸櫓が復元されています。



③ 日米堂商店

創業は大正14年の老舗のおだんご屋です。おだんごは丸くて平たい形が特徴で、甘辛い醤油ダレとからんでやみつきになります。

住 田原市田原町本町32 **駐** 有

営 午前9時～午後7時(売切れ次第終了)

休 不定休 **☎** 0531-22-0274



1本 70円

② 田原まつり会館

学ぶ
体験

田原市の城下町文化を伝え、市の有形民俗文化財に指定されている山車の展示や、市の無形民俗文化財の田原風などを中心に、壮大なまつりの情景を再現し紹介しています。

住 田原市田原町稗田17 **駐** 有

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

観覧料 無料 **☎** 0531-22-7337



① 城宝寺

見どころ

渡辺華山の菩提寺で有名な城宝寺。本堂奥の華山霊牌堂には、日本有数の画家・書家による作品「花の絵」で天井が飾られていて、境内には渡辺華山の句碑が建てられています。また、山門の右手にある城宝寺古墳は6世紀のもので、愛知県指定史跡です。横穴式石室は、渥美半島最大規模のもです。

住 田原市田原町稗田48 **駐** 有

華山霊牌堂拝観料 200円 **☎** 0531-22-0076



田原の企業・お店で活躍されている方をご紹介します！

～萱町本店～ かねき米の郷 鈴木康仁さん

●プロフィール

1981年生まれ。高校卒業後新潟の大学に進み、大学卒業後、田原の企業に就職。30歳のときに、5代目として家業を継ぐ。



住 田原市田原町萱町 27
☎ 0531-22-0058
営 8:30-20:30
休 毎週日曜日
駐 2台



▲オリジナルギフトをPRする「かねき米の郷」の5代目、鈴木康仁さん

「かねき米の郷」は、江戸時代末期、ふかしさつまいも」の商いを始めたのが最初で、明治30年に米屋として営業を始めました。現在の萱町本店は、平成10年4月に開業し、南晚田（南晚田20・3）にも店舗があります。

お客様のニーズの変化
 食生活の急激な変化により、昔に比べお米の需要は変化しつつあります。また、車社会の発達により、配達も昔と比べると減少し、お店に来店されるお客様が増えているそうです。

オリジナルのお米ギフト
 現在、かねき米の郷では、5種類のお米ギフトを提供しています。出産内祝として人気がある、出生体重と同じ重さのおいしいお米をオリジナル米袋に詰めた「赤ちゃん米」や、ご希望の文字・写真・絵などをプリントし、各種イベント等にもご利用いただける「プリントパック米」。3種または6種のお米（各種450g入り）が可愛いプチ米袋に入ったセット、いろいろごはんセットは、引き出物やお中元、お歳暮におすすめのギフトです。

また、プチ米袋に名刺ポケットを付けた「お米名刺」は、記念品・引越しご挨拶・イベント景品など、幅広くご利用いただけます。「お米名刺」のネーミングとパッケージは、当店オリジナルの「プチ米ギフト」としておすすめで、康仁さんが話してくださいました。

【次回のお知らせ】
 今回は、鈴木康仁さんからバトンを受け取った「髪ingなつめ」の夏目佳樹さんをご紹介します。お楽しみに♪

地域密着のお店作り
 若いお客様にも、気軽にお店に来ていただけるように、袋詰めのお米を並べるのではなく、可愛いギフト商品を取り揃えたり、お米の産地や特徴が一目でわかるように説明を表示したりするなど工夫されています。

また康仁さんは、田原祭りなどにも積極的に参加し、中心市街地の街づくりにも取り組んでいます。

これからも、地域の皆さんに愛される理想のお店を目指して欲しいですね。

こだわりの「新潟県佐渡産コシヒカリ」
 お店の看板米として、永年佐渡ヶ島の中でも特にこだわった「羽茂地区」のコシヒカリを販売しています。「ごはんの艶・香り・甘味の3拍子揃った自慢のお米です」と康仁さんは胸をはります。

8月下旬に産地を訪問したところ、今年の作柄は良好で、大変期待できるそうです。近日、入荷予定だそうですので、この機会にご賞味してみてくださいいかがですか。